

# あなたも地域デビュー&チャレンジ

まちづくり協議会 事業企画部

**部員募集**

地域のことを考え、話し合い「やってみたい」を形にする仲間を募集しています。特別な経験や資格は必要ありません。これまでの経験や、あなたの持つ技術・知識を安浦町のにぎわいづくりや発展にいかしてみませんか。「何かやってみたい」「地域に関わってみたい」そんな気持ちがあれば大歓迎です。



推しのユニフォームでピース&スマイル

安浦町観光協会 安浦町内

**ガイド募集**

安浦町の魅力を町内外の人に伝えるガイド活動をしてみませんか？地域のお宝再発見や、町内外の人との交流など、観光を通じたまちづくりに関心のある方におすすめです。(映像学習・研修・現地実習あり)



▲ にぎわいづくり事業



▲ 研修先での様子

まちづくり協議会会議

毎月第1火曜日 PM6時～  
会場：安浦市民センター 会議室

参加お待ちしております😊

お問い合わせ

安浦町まちづくり協議会  
☎0823-84-2261 担当：山田



たんと

No.66

発行  
令和8年3月10日

安浦町まちづくり協議会 〒737-2516 呉市安浦町中央4丁目3-2(呉市役所安浦市民センター内) 電話:0823-84-2261 (年4回発行)

## 待望の 日帰り入浴 はじまっています

昨年11月に、シャトレゼガトーキングダムせとうちでは土日限定で日帰り入浴がスタートしました。経営がシャトレゼに代わりホテル営業を開始した後、日帰り入浴についての問い合わせも多くありました。兼ねてよりホテルの社長が日帰り入浴をスタートさせたいと考えていたこともあり、土日限定での実施に至りました。大浴場は、朝8時～14時(最終入場13時)まで利用可能です。自然との共生を目指すシャトレゼガトーキングダムせとうちの大浴場は瀬戸内カラーをテーマにリニューアルされ、女性脱衣所には以前はなかった授乳室もあります。

また、土日限定日帰りランチビュッフェも開始しており、安浦町内の人々が宿泊しなくとも気軽に来館できるようになりました。この二つの土日限定プランが、お得にコラボした「湯ったりパック」というプランもあります。大浴場で三津口湾を望み、湯上りに卓球でリフレッシュしたあとは、ランチビュッフェでシェフの実演提供のご飯とシャトレゼ自慢のスイーツでお腹いっぱいになれば素敵な休日になりますね。ランチは人気のため、営業開始前からお客様が長い列を作っています。お風呂のあとは、ランチ営業時間までにレストランへ行くのがおすすめです。

地元安浦町との関わり方の一つとして日帰り宴会(要予約)も開始しており、今年はホテル敷地内に菓子工場をオープンするそうです。乞うご期待🍴



リニューアルした大浴場



大浴場内洗い場



授乳室



ランチビュッフェ会場[レストランオーシャンリス]



ランチビュッフェの料理



シャトレゼ ガトーキングダムせとうち

📍 広島県呉市安浦町三津口326-48  
☎ 0823-84-0262

大浴場営業時間(土日限定)  
8時～14時(最終入場13時)

ランチ営業時間(土日限定)  
11時～14時(最終入場13時30分)



公式HP



Instagram

## 第10回 やすうら蔵まつり 開催決定

2026(令和8)年4月26日(日)に、安浦町内唯一の酒蔵盛川酒造株式会社が10回目となる「やすうら蔵まつり」を開催します。第9回では初のイベント、社長の盛川知則さんに勝った人が残っていく勝ち抜き「じゃんけん大会」を実施し、来場していたすべての人を巻き込み盛り上がりしていました。今年も、じゃんけん大会はもちろんのこと、毎年恒例人気の「酒粕つめ放題」「地酒飲み比べ」「蔵見学ツアー」「当日持ち帰り限定!漬物用酒粕の大盤振舞」も実施し、盛川酒造ファンや地元へ還元するイベントにする予定だそうです。

会場までは、安浦駅発の有料送迎バスでアクセスできます。蔵見学は普段入ることのない場所で、造り手の杜氏の想いととも説明を聞くことができる機会です。ぜひ参加し、さらに美味しくお酒を楽しんでみてはいかがでしょうか。



蔵まつりの様子



有料試飲や販売のお酒



人気の酒粕つめ放題

第10回 やすうら蔵まつり

日時 2026年4月26日(日)  
10時～15時(14:30受付終了)

場所 盛川酒造の蔵およびその周辺  
参加費 500円(「白鴻」の新酒1杯つき)



公式HP



Instagram

問い合わせ

盛川酒造株式会社  
広島県呉市安浦町原畑44番地  
電話：0823-84-2002  
FAX：0823-84-7006

— 連載「やすうら記憶遺産」とは？ —

安浦町の風物を描き残した画家・山本譲(1904-1994)の400枚にのぼる絵を通して、明治から昭和に至る安浦町の歴史や記憶を掘り起こし、絵の中の人々の暮らしを後世に伝えていく取組みです。  
まちづくり広報誌「TANTO」紙上で2016(平成28)年No.28/9月号から連載を始め、今回で38回目のお話となります。

春を待つ子どもらが野に遊ぶ。その背に、やさしく聳える小さな山。山の斜面には、段々畑が上へ上へ伸びている。安浦の向山の、春の光景である。標高三五九メートル。干拓以前、この地が入海であったころ、海の方こうに見える山だったことから「向山」と名づけられたという。里修験の山として行者山とも呼ばれ、アケビ、山もも、クリ、きのこなど山の幸に恵まれ、紫式部の実が揺れ、小鳥の類が多い豊かな自然があった。夏なお鶯が鳴き、南の光をたっぷり浴びるこの山から、春が訪れる。この絵を描いた画家・山本譲は、絵の裏書にそう記した。



瀬戸内の沿岸では、海へ働きかける干拓という大きな開拓があった。けれども一つ、山の頂へ向かう開拓がある。中世後半以降、人々は自力で小さな開発を重ね、ほとんど畝ひとつで、条件の悪い斜面や湿地を少しずつ耕地へ変えていった。その累積が棚田や段畑という壮観を生み、「耕して天に至る」とさえ言われる景観となった。名も残らぬ小農の忍耐が、土地に刻まれた。

その農耕遺産も消えかかり向山の斜面は樹々に覆われてきている。画家の言葉を噛み締めながら、今年もまた、向山から春が訪れるのを迎えたい。

やすうら再発見

散策のすすめ ◆ 正徳寺(中切) 馬頭観音建立伝説

古老から聞いたお話です。

むかし、中切村の東のはずれ旧中切小学校附近の大上郷に館があり、たくさんの馬が飼われていました。その中の気の荒い鬼鹿毛はご主人にたいへんかわいがられていました。

毎日早朝から館のある大上郷から一気に駆けおり榎木峠、平畑、小田屋、藪ヶ崎、安登の里に入って源道尻、中条の奥、上の川、引き上げ峠の中間点の馬洗池まで走り抜け、ここで体を洗ってもらい、一時間くらい休んでおなかいっぱい草を食べると、再び山口、大谷まで駆け抜けて、御堂田、中の原、引明を通り、日占(日浦)山の麓から藪ヶ崎を回って大上郷の館までの、中切・安登地区と駆け巡っていました。

ある時、馬を世話する家来が馬小屋のそばでうとうとしていると不思議な夢をみました。鬼鹿毛と栗毛馬が何やら話をしています。耳をすますと「栗毛…お前ともずいぶん仲良くしてもらい、世話になったが、わしはもう長くはなさそうだ。わしがいなくなったらご主人のことは、よろしくたのむ」という声が聞こえてきました。奇妙な夢をみたな、と思い馬屋に行ってみましたが別に何も変わったことはありませんでした。

翌朝、家来が馬小屋に行くと、いつもの元気ないなさが聞こえませんでした。鬼鹿毛は息が絶えていたのです。家来はきのうの夢の中での話は鬼鹿毛だったのかと思い、すぐさまご主人に知らせました。ご主人はたいそう悲しみ残念に思い森神社の隣にあった正徳寺に『馬頭観音様』をおまつりして供養しました。

むかしからこの地区では、農耕などの主役であった牛や馬を家族の一員として大切に供養することが行われていました。今では、鬼鹿毛が駆け巡った田畑や山林は荒れはてしていますが、馬洗池の前に立つと風の音とともに元気な鬼鹿毛のいなさが聞こえてきそうです。



馬洗池



馬洗池



森神社隣 馬頭観音堂

しんぎょうじ

信楽寺の譲渡会

小さな命も大切に

犬や猫は見ていて、心が和みますね。けれども、中には飼育放棄、迷子になったり引っ越しなどで行き場なくなった動物たちもいます。そういう動物たちを保護しているボランティアさんや団体があります。譲渡会は、その動物たちに新しい里親を見つける出会いの場です。

信楽寺では、年に2回犬猫の譲渡会の場を提供しています。野良猫や地域猫のよろず相談・絵本の読み語り・cafeコーナーなどもあり、ゆったりと猫や犬とふれあいながらスタッフや来場者の方々とお話もできます。次の譲渡会は第6回7月20日(月)10時~14時です。関心のある方はもちろん、飼うことはできないけれど保護団体を応援したい方もぜひお越しください。不要になったトイレシートや未開封のフード等も助かりますので、ご提供もうれしいです。



地域猫活動

地域ではふん尿の被害、鳴き声、ボンネットを傷つけるなど野良猫(飼い主のいない猫)の被害が増えていますね。

そこで動物愛護センターなどが呼び掛ける解決方法として地域猫活動があります。

地域住民が主体となって、動物愛護ボランティア・行政などの協力を得て①適切な餌やり②飼育場所の清掃管理③トイレ等の設置④避妊去勢手術をするなどです。生まれてきた小さな命が悲しい思いをさせないように住みやすい地域にする活動です。

呉市では、避妊・去勢手術の費用は年度予算の範囲内で一部負担しています。動物愛護センターへ登録が必要ですが、2026(令和8)年1月末までに120匹の避妊、去勢が済んでいます。安浦でも地域猫活動を続け少しずつ野良猫が減っている地域もあります。

